

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Motohiro MACHIDA, et al.

GAU:

SERIAL NO: 10/614,517

EXAMINER:

FILED: July 8, 2003

FOR: SERVICE PROVISION SYSTEM, SERVICE PROVISION METHOD, INFORMATION PROVISION CONTROL SYSTEM, AND INFORMATION PROVISION CONTROL METHOD

REQUEST FOR PRIORITY

COMMISSIONER FOR PATENTS
ALEXANDRIA, VIRGINIA 22313

SIR:

- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number , filed , is claimed pursuant to the provisions of **35 U.S.C. §120**.
- ☐ Full benefit of the filing date(s) of U.S. Provisional Application(s) is claimed pursuant to the provisions of **35 U.S.C. §119(e)**:
Application No. Date Filed

☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of **35 U.S.C. §119**, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

<u>COUNTRY</u>	<u>APPLICATION NUMBER</u>	<u>MONTH/DAY/YEAR</u>
JAPAN	2002-198948	July 8, 2002
JAPAN	2002-198988	July 8, 2002

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

- ☒ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee
- ☐ were filed in prior application Serial No. filed
- ☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- ☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and
- ☐ (B) Application Serial No.(s)
☐ are submitted herewith
☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,
MAIER & MEUSTADT, P.C.

Bradley D. Lytle

Registration No. 40,073

Customer Number

22850

Tel. (703) 413-3000
Fax. (703) 413-2220
(OSMMN 05/03)

Eckhard H. Kuesters
Registration No. 28,870

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2 0 0 2 年 7 月 8 日

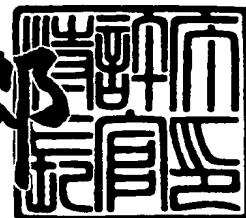
出 願 番 号
Application Number: 特 願 2 0 0 2 - 1 9 8 9 4 8
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 2 - 1 9 8 9 4 8]

出 願 人
Applicant(s): 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ
ヒューレット・パカード・カンパニー

2 0 0 3 年 7 月 8 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



【書類名】 特許願

【整理番号】 14-0001

【提出日】 平成14年 7月 8日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/30

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区永田町二丁目 1 1 番 1 号 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ内

【氏名】 町田 基宏

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区永田町二丁目 1 1 番 1 号 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ内

【氏名】 磯 俊樹

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区永田町二丁目 1 1 番 1 号 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ内

【氏名】 片桐 雅二

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区永田町二丁目 1 1 番 1 号 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ内

【氏名】 杉村 利明

【発明者】

【住所又は居所】 東京都杉並区高井戸東 3 丁目 2 9 番 2 1 号 日本ヒューレット・パッカー株式会社内

【氏名】 清水 英則

【発明者】

【住所又は居所】 東京都杉並区高井戸東 3 丁目 2 9 番 2 1 号 日本ヒューレット・パッカー株式会社内

【氏名】 菅原 太郎

【発明者】

【住所又は居所】 東京都杉並区高井戸東3丁目29番21号 日本ヒューレット・パッカー株式会社内

【氏名】 鶴飼 文敏

【発明者】

【住所又は居所】 東京都杉並区高井戸東3丁目29番21号 日本ヒューレット・パッカー株式会社内

【氏名】 坊野 博典

【発明者】

【住所又は居所】 東京都杉並区高井戸東3丁目29番21号 日本ヒューレット・パッカー株式会社内

【氏名】 湯浅 敬

【発明者】

【住所又は居所】 東京都杉並区高井戸東3丁目29番21号 日本ヒューレット・パッカー株式会社内

【氏名】 マーク マッキーチャン

【発明者】

【住所又は居所】 東京都杉並区高井戸東3丁目29番21号 日本ヒューレット・パッカー株式会社内

【氏名】 中川 真也

【特許出願人】

【識別番号】 392026693

【氏名又は名称】 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

【特許出願人】

【識別番号】 398038580

【氏名又は名称】 ヒューレット・パッカー・カンパニー

【代理人】

【識別番号】 100088155

【弁理士】

【氏名又は名称】 長谷川 芳樹

【選任した代理人】

【識別番号】 100092657

【弁理士】

【氏名又は名称】 寺崎 史朗

【選任した代理人】

【識別番号】 100114270

【弁理士】

【氏名又は名称】 黒川 朋也

【選任した代理人】

【識別番号】 100108213

【弁理士】

【氏名又は名称】 阿部 豊隆

【選任した代理人】

【識別番号】 100113549

【弁理士】

【氏名又は名称】 鈴木 守

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 014708

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 サービス提供システム及びサービス提供方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイルと、

商品に付与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービス提供者のアクセス先アドレス、及び前記手続きファイルの格納先情報、並びに、前記商品に関する情報と前記商品に関連するサービスに関する情報の両方又は一方を含むチケットを格納管理するチケット格納管理手段と、

ユーザにより要求されたコード及びチケット要求に基づいて、前記コードに対応したチケットの検索を前記チケット格納管理手段に実行させる検索制御手段と

前記検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて前記手続きファイルからアクセス方法情報を読み出すアクセス方法情報読み出し手段と、

前記検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得するサービス情報獲得手段と、

前記チケットに含まれた前記商品に関する情報、前記サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する提示制御手段と、

を備え、

前記チケットは、前記商品に関する情報又は前記サービスに関する情報として、前記コードとは異なるコードを含むことが可能とされ、

前記検索制御手段は、前記検索により得られたチケットが異なるコードを含むか否かを判断し、当該チケットが異なるコードを含む場合、当該異なるコードに対応したチケットの検索を前記チケット格納管理手段にさらに実行させる、

ことを特徴とするサービス提供システム。

【請求項 2】 ユーザにより要求されたコード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付ける要求受付手段と、

ユーザの嗜好情報及びサービス利用情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段と、

をさらに備え、

前記提示制御手段は、

前記要求受付手段による受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応したユーザ情報を前記ユーザ情報記憶手段から読み出し、当該ユーザ情報及び前記サービス提供内容情報に基づいてサービス提供者を選択し、選択したサービス提供者に関するサービス提供内容情報及びアクセス方法情報を前記ユーザへ提示する

ことを特徴とする請求項 1 記載のサービス提供システム。

【請求項 3】 前記提示制御手段は、

前記商品に関する情報又は前記サービスに関する情報に含まれたキーワードを検索キーとして検索エンジンでの検索を行い、検索により得られたリンク情報を前記ユーザへ提示する、

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のサービス提供システム。

【請求項 4】 サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイルと、商品に付与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービス提供者のアクセス先アドレス、及び前記手続きファイルの格納先情報、並びに、前記商品に関する情報と前記商品に関連するサービスに関する情報の両方又は一方を含むチケットを格納管理するチケット格納管理手段と、を備えたサービス提供システムにて実行されるサービス提供方法であって、

ユーザにより要求されたコード及びチケット要求に基づいて、前記コードに対応したチケットの検索を前記チケット格納管理手段に実行させる検索制御工程と

前記検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて前記手続きファイルからアクセス方法情報を読み出すアクセス方法情報読出し工程と、

前記検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得するサービス情報獲得工程と、

前記チケットに含まれた前記商品に関する情報、前記サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する提示制御工程とを有し、

前記チケットは、前記商品に関する情報又は当該商品に関連するサービスに関する情報として、前記コードとは異なるコードを含むことが可能とされ、

前記検索制御工程では、

検索により得られたチケットが異なるコードを含むか否かを判断し、当該チケットが異なるコードを含む場合、当該異なるコードに対応したチケットの検索を前記チケット格納管理手段にさらに実行させる、

ことを特徴とするサービス提供方法。

【請求項 5】 前記サービス提供システムが、ユーザにより要求されたコード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付ける要求受付手段と、ユーザの嗜好情報及びサービス利用情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段とをさらに備え、

前記提示制御工程では、

前記要求受付手段による受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応したユーザ情報を前記ユーザ情報記憶手段から読み出し、

当該ユーザ情報及び前記サービス提供内容情報に基づいてサービス提供者を選択し、

選択したサービス提供者に関するサービス提供内容情報及びアクセス方法情報を前記ユーザへ提示する、

ことを特徴とする請求項 4 記載のサービス提供方法。

【請求項 6】 前記提示制御工程では、

前記商品に関する情報又は前記サービスに関する情報に含まれたキーワードを検索キーとして検索エンジンでの検索を行い、

検索により得られたリンク情報を前記ユーザへ提示する、
ことを特徴とする請求項 4 又は 5 に記載のサービス提供方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、サービス利用者（ユーザ）からの要求に基づきサービスを提供するサービス提供システム、及び当該サービス提供システムにて実行されるサービス提供方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

ユーザが興味のあるサービスを得る手段として、1つのサービスとそれに関連したサービスとを併せて提供すること（例えば、旅行の申込手段と旅行保険の申込手段とを同時に提供することや、フランス料理のレストランでフランス産のワインを提供すること等）は一般的に行われている。最近のインターネットを介した商取引においても、複数業種を横断的に連携させるために、1つのサービスに関するホームページを作成する際に、予めそれに関連したサービスに関するホームページへのハイパーリンクを埋め込むことが行われている。例えば、旅行の申込をするホームページには、旅行保険の申込みのための保険会社のホームページへのハイパーリンクを埋め込むことが行われている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、複数業種のサービスを横断的に連携させてユーザに提供する従来の方法では、サービス提供者は、予め連携する複数のサービス間の関係をURLのリンクとして用意しておく必要や、または総合的にサービスを提供する大手のサービス提供者（例えば、ヤフーやニフティ）と提携する必要があった。また、これらのリンクの用意や他のサービス提供者との提携をしても、提供可能なサービスの種類、範囲はある程度固定的なものとならざるを得ず、ユーザにとっては、提供を受けられるサービスの選択肢が限られてしまうという問題があった。

【0004】

この問題を避けるため、ユーザは、インターネット上の検索エンジンを用いて、関連するサービス提供者を自分で検索するのが一般的である。ところが、この方法では、ユーザにとっては、数多くの検索結果の中から、自分に最適なサービス提供者を探し出すのに手間がかかるという問題がある。

【0005】

本発明は上記課題を解決するために成され、その目的は、複数業種を横断的に連携させユーザにサービスを提供するサービス提供システム及びサービス提供方法において、サービス提供者を連携させるために用意するリンク情報や連携関係を構築する手間を削減し、ユーザにとって選択可能なサービス提供者の範囲を広げユーザの便宜を図ることにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明に係るサービス提供システムは、請求項1に記載したように、サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイルと、商品に付与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービス提供者のアクセス先アドレス、及び前記手続きファイルの格納先情報、並びに、前記商品に関する情報と前記商品に関連するサービスに関する情報の両方又は一方を含むチケットを格納管理するチケット格納管理手段と、ユーザにより要求されたコード及びチケット要求に基づいて、前記コードに対応したチケットの検索を前記チケット格納管理手段に実行させる検索制御手段と、前記検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて前記手続きファイルからアクセス方法情報を読み出すアクセス方法情報読出し手段と、前記検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得するサービス情報獲得手段と、前記チケットに含まれた前記商品に関する情報、前記サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する提示制御手段と、を備え、前記チケットは、前記

商品に関する情報又は前記サービスに関する情報として、前記コードとは異なるコードを含むことが可能とされ、前記検索制御手段は、前記検索により得られたチケットが異なるコードを含むか否かを判断し、当該チケットが異なるコードを含む場合、当該異なるコードに対応したチケットの検索を前記チケット格納管理手段にさらに実行させることを特徴とする。

【0007】

上記サービス提供システムでは、サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイルが存在し、チケット格納管理手段が、商品に付与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービス提供者のアクセス先アドレス、及び手続きファイルの格納先情報、並びに、商品に関する情報と商品に関連するサービスに関する情報の両方又は一方を含むチケットを格納管理している。ここで、ユーザがコード及びチケット要求によりチケットを要求すると、検索制御手段が、当該コード及びチケット要求に基づいて、当該コードに対応したチケットの検索をチケット格納管理手段に実行させる。ここで、チケット格納管理手段が、当該コードに対応したチケットの検索を行うことで、検索結果としてチケットが得られる。

【0008】

そして、アクセス方法情報読出し手段が、検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて手続きファイルからアクセス方法情報を読み出す。また、サービス情報獲得手段が、検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得する。

【0009】

さらに、提示制御手段が、上記のチケットに含まれた商品に関する情報、サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する。これにより、ユーザは、所望のコードに対応したチケットに含まれた商品に関する情報、サービスに関する情報、当該チケット

に含まれた手続きファイルの格納先情報に基づき読み出されたアクセス方法情報、及び当該チケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスに基づき獲得されたサービス提供内容情報を得ることができる。

【0010】

本発明では、このようなサービス提供システムにおいて、上記チケットが、商品に関する情報又はサービスに関する情報として、コードとは異なるコードを含むことが可能とされ、検索制御手段は、検索により得られたチケット（ユーザが要求したコードに対応したチケット）が異なるコードを含むか否かを判断し、当該チケットが異なるコードを含む場合には、当該異なるコードに対応したチケットの検索をチケット格納管理手段にさらに実行させる。

【0011】

ここで上記同様に、チケット格納管理手段が、当該異なるコードに対応したチケットの検索を行うことで、検索結果として新たなチケットが得られる。そして、アクセス方法情報読出し手段が、検索により得られた新たなチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて手続きファイルからアクセス方法情報を読み出す。また、サービス情報獲得手段が、検索により得られた新たなチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得する。さらに、提示制御手段が、上記の新たなチケットに含まれた商品に関する情報、サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する。

【0012】

このようにして、チケットに含まれた上記異なるコードに対応した新たなチケットが得られ、その新たなチケットの情報より、上記と同様に、新たな商品（例えば、もとの商品と連携した商品）に関する情報、新たなサービス（例えば、もとのサービスと連携したサービス）に関する情報、そのアクセス方法情報及びそのサービス提供内容情報を得ることができる。

【0013】

このように1つのチケットが異なるコードを含むよう構成することで、当該異なるコードを用いたチケットの検索、及び検索で得られた新たなチケットに含まれた新たな商品に関する情報、新たなサービスに関する情報、そのアクセス方法情報、及びそのサービス提供内容情報をユーザへ提示することが可能となる。これにより、複数のサービス提供者を連携させるために用意すべきリンク情報や提携関係を構築する従来のような手間を削減することができ、ユーザにとっても選択可能なサービス提供者の範囲が広がるため、ユーザの便宜を図ることができる。なお、本発明における「コード」には、例えば、商品を識別するための商品コード、商品の販売場所やサービスの提供場所等の場所に関するコード、商品やサービスの内容を宣伝・紹介する動画・静止画等のイメージファイルのコード等が含まれる。

【0014】

また、本発明に係るサービス提供システムは、請求項2に記載したように、ユーザにより要求されたコード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付ける要求受付手段と、ユーザの嗜好情報及びサービス利用情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段と、をさらに備え、前記提示制御手段は、前記要求受付手段による受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応したユーザ情報を前記ユーザ情報記憶手段から読み出し、当該ユーザ情報及び前記サービス提供内容情報に基づいてサービス提供者を選択し、選択したサービス提供者に関するサービス提供内容情報及びアクセス方法情報を前記ユーザへ提示する構成とすることが望ましい。

【0015】

この場合、サービス提供システムには、ユーザの嗜好情報及びサービス利用情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段が存在し、要求受付手段が、ユーザにより要求されたコード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付ける。提示制御手段は、要求受付手段による受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応したユーザ情報をユーザ情報記憶手段から読み出し、当該ユーザ情報及びサービス提供内容情報に基づいてサービス提供者を選択し、選択したサービス提供者に関するサービス提供内容

情報及びアクセス方法情報を前記ユーザへ提示する。

【0016】

このため、ユーザの嗜好情報及びサービス利用情報を含むユーザ情報とサービス提供内容情報とに基づいてサービス提供者が選択されるため、当該ユーザが興味や関心を示すと想定されるサービスのサービス提供者をより確実に選択することができ、選択したサービス提供者に関するサービス提供内容情報及びアクセス方法情報をユーザへ提示することができる。これにより、サービス提供者としては、商品の購買者やサービスの利用者になる確率の高いユーザに対し、より確実にサービス提供内容を提示することができ、ユーザにとっては、自己の興味や関心の高い商品及びサービスに関する情報をより確実に得ることができることとなり、有用性の高いサービスの提供が実現される。

【0017】

また、本発明に係るサービス提供システムは、請求項3に記載したように、前記提示制御手段は、前記商品に関する情報又は前記サービスに関する情報に含まれたキーワードを検索キーとして検索エンジンでの検索を行い、検索により得られたリンク情報を前記ユーザへ提示する構成とすることが望ましい。

【0018】

この場合、チケット内の商品に関する情報又はサービスに関する情報に含まれたキーワードを検索キーとする検索エンジンでの検索が行われ、ユーザは、検索により得られたリンク情報を得ることができるので、ユーザは自分で、キーワードを検索キーとする検索エンジンでの検索を行う手間が不要となり、ユーザの負担を軽減することができる。

【0019】

ところで、上記サービス提供システムに係る発明は、以下のサービス提供方法の発明として捉えることもできる。これらの発明は、技術的思想としては同一であるため、同様の作用・効果を奏する。

【0020】

即ち、本発明に係るサービス提供方法は、請求項4に記載したように、サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイルと、商品に付

与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービス提供者のアクセス先アドレス、及び前記手続きファイルの格納先情報、並びに、前記商品に関する情報と前記商品に関連するサービスに関する情報の両方又は一方を含むチケットを格納管理するチケット格納管理手段と、を備えたサービス提供システムにて実行されるサービス提供方法であって、ユーザにより要求されたコード及びチケット要求に基づいて、前記コードに対応したチケットの検索を前記チケット格納管理手段に実行させる検索制御工程と、前記検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて前記手続きファイルからアクセス方法情報を読み出すアクセス方法情報読み出し工程と、前記検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得するサービス情報獲得工程と、前記チケットに含まれた前記商品に関する情報、前記サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する提示制御工程とを有し、前記チケットは、前記商品に関する情報又は当該商品に関連するサービスに関する情報として、前記コードとは異なるコードを含むことが可能とされ、前記検索制御工程では、検索により得られたチケットが異なるコードを含むか否かを判断し、当該チケットが異なるコードを含む場合、当該異なるコードに対応したチケットの検索を前記チケット格納管理手段にさらに実行させることを特徴とする。

【0021】

また、本発明に係るサービス提供方法では、請求項5に記載したように、前記サービス提供システムが、ユーザにより要求されたコード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付ける要求受付手段と、ユーザの嗜好情報及びサービス利用情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段とをさらに備え、前記提示制御工程では、前記要求受付手段による受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応したユーザ情報を前記ユーザ情報記憶手段から読み出し、当該ユーザ情報及び前記サービス提供内容情報

に基づいてサービス提供者を選択し、選択したサービス提供者に関するサービス提供内容情報及びアクセス方法情報を前記ユーザへ提示することが望ましい。

【0022】

さらに、本発明に係る情報提供制御方法では、請求項6に記載したように、前記提示制御工程では、前記商品に関する情報又は前記サービスに関する情報に含まれたキーワードを検索キーとして検索エンジンでの検索を行い、検索により得られたリンク情報を前記ユーザへ提示することが望ましい。

【0023】

【発明の実施の形態】

以下、図面を用いて本発明の実施の形態を説明する。なお、以下では本発明に係る「コード」は「ID」と称する。また、チケットとは、IDに対応した商品の情報、当該商品に関連したサービス提供に係わるサービス提供者のアドレス、アクセス方法、サービス種別等が記述された情報であり、詳細は図6を用いて後述する。

【0024】

【サービス提供システムの構成】

図1には、本実施形態に係るサービス提供システムの全体構成を示す。この図1に示すように、本実施形態に係るサービス提供システムは、ネットワーク120に接続された又は接続可能とされた以下の構成要素により構成される。即ち、サービス提供システムは、サービス提供を受けるユーザのパーソナルコンピュータ（PC）、携帯用情報端末（Personal Digital Assistant：PDA）、携帯電話などの端末100と、IDが付与される物に対して新たにID発行依頼を行うID発行依頼者（例えば、新しい商品の開発や製造を行う業者や購入などで商品を手に入れた者等）102と、ID発行を行うID発行機関のグループ103と、チケット登録依頼するチケット登録者104と、チケットの格納管理や検索を行うチケット管理部105と、サービスを仲介してユーザにサービス提供者の候補を提示するとともに、それに係る手続きを代行する手続き処理実施部106と、手続きファイル107と、販売や修理や情報提供などをネットワークを介して行うサービスを提供するサービス提供者108と、個人情報109と、ヤフー（

yahoo) やグーグル (google) などの検索エンジン 110 とを含んで構成されている。

【0025】

このうち ID 発行機関のグループ 103 は、ID 発行を行う機関のグループ 103 の全体的 ID 発行規則の管理運営を行う ID 発行管理機関 1031 と、ID 発行管理機関 1031 から与えられた ID 発行規則に基づき ID を発行する複数の ID 発行機関 1032、1033 とを含んで構成されている。

【0026】

チケット管理部 105 は、チケット管理部 105 へのチケット登録要求の受信や検索結果の送信等を行う送受信部 1051 と、チケット蓄積する巨大なデータベースである格納部 1052 と、チケットの検索を行う検索部 1053 とを含んで構成されている。

【0027】

手続き処理実施部 106 は、ID に基づくチケット検索結果 (複数のチケット) からユーザが求め且つユーザが手続き可能なサービス提供者に関するチケットを選択するチケットフィルタリング部 1061 と、チケットに記述された手続きファイル格納先 (即ち、サービス提供者へのアクセス方法情報に関する手続きファイル 107 の格納先情報 (サービスエンティティアクセスプロトコル格納先ポインタともいう)) からチケットの手続きファイルを読み出す手続きファイル読み出し部 1063 と、手続き処理に基づいて手続きを指示する手続き処理指示部 1062 とを含んで構成されている。

【0028】

手続きファイル 107 は、手続きに用いるプロトコルや必須な情報 (例えば自動車業界が定めたプロトコルである場合、インターネットで一般的に用いられている暗号通信方式や、独自の手続きプロトコル、また手続きに必要な情報の種類に関する情報) が記述されたファイルであり、ネットワーク 120 を介して誰でも参照できるように公開されている。これによって、新たにサービスを提供するものは、公開されている様々な手続き処理の中から、最適な手続き処理を選び、その手続きファイルの格納先をチケットに記述するだけで利用することが可能に

なる。なお、手続きファイル107は、セキュリティを確保するため必要に応じて、情報を要求する者の認証を行い、参照を適宜制限する措置をとることも可能とされている。

【0029】

なお、後述の処理で用いられる個人情報109には、名前や住所、趣味や嗜好、所有している物のリスト、手続きできる処理の種類、更には様々なサービス提供者へのアクセス履歴や利用履歴などの情報が含まれており、この個人情報109は、ユーザが端末100に保有してもよいし、ネットワーク内にWebページのような形式で保有してもよいし、サービス提供者を紹介し手続きを仲介する手続き処理実施部106にあってもよい。

【0030】

また、IDを付与された物101は、数字や文字の組合せでできたコードをバーコードや二次元バーコードやRF-IDや赤外タグなどでIDを付与された物（ビンや紙などの物理的な物体や音声ファイルやイメージファイルのような電子的な物体）により構成される。

【0031】

[サービス提供に係る各種の処理]

以下、上記サービス提供システムにて実行されるサービス提供に係る各種の処理を説明する。

【0032】

[IDの発行機関認定処理及びID発行処理]

図2には、IDの発行機関認定処理及びID発行処理を示す。この図2に示すように、ID発行機関の認定申請を希望する機関は、ID発行管理機関1031にID発行機関になることを認定申請する。ID発行管理機関1031は、申請のあった機関が、充分ID発行管理機関1031が定めたID発行規則やその他の規則を守れるか否かを審査し、その条件を満たすとき、申請のあった機関をID発行機関として認定するとともに、申請のあった機関が発行可能なIDの発行規則を通知する。IDの発行規則の具体例としては、「ID発行機関Aが付与するIDには必ず頭にJANという文字列を付与する」とか、「ID発行機関Bが

付与する ID には必ず頭に ISBN という文字列を付与する」等が挙げられる。

【0033】

認定された ID 発行機関 1032、1033 等は、ID 発行依頼者 102 から、ID の発行依頼を受けた時、ID 発行依頼者 102 の名前やアドレスや信頼性を審査（チェック）し、所定の条件を満たす場合に ID 発行管理機関 1031 の定めた ID 発行規則に従い ID を発行し、その ID を ID 発行依頼者 102 に通知する。このような発行規則を守ることで、同じ ID が重複して存在することを防ぐことが可能となるとともに、従来からある様々な ID 体系を、重複しないコード体系として管理することが可能となる。

【0034】

図 3 は、ID 発行機関認定処理を行わずに ID の重複を避ける ID 発行処理を説明する図である。この図 3 に示すように、まず、ID 発行機関 1032 等は、ID 発行依頼者 102 から ID 発行依頼を受ける都度、ID 発行管理機関 1031 に ID 発行依頼を行う。ID 発行管理機関 1031 は、ID 発行依頼を行った ID 発行機関 1032 等が、ID 発行管理機関 1031 が定めた ID 発行規則やその他の規則を守れるか否かを審査し、その条件を満たすとき、ID 発行依頼を行った ID 発行機関 1032 等に新規 ID を発行し、その ID を通知する。通知を受けた ID 発行機関 1032 等は、その ID を ID 発行依頼者 102 に通知し、これにより、ID 発行依頼者 102 は、その ID を得ることができる。

【0035】

なお、図 3 で説明した ID 発行管理機関 1031 は、全ての ID 発行を管理運営することが可能な場合に、個別の ID 発行依頼に対応する形態であり、実質的には当該 ID 発行管理機関 1031 が ID を発行する形態である。

【0036】

[チケットの登録・更新処理]

図 4 は、チケット管理部 105 によるチケットの登録・更新処理を説明する図である。この図 4 に示すように、チケット管理部 105 は、チケット登録者 104 から、チケット登録依頼を受信する。チケット登録依頼は、一般的には ID が付与された物（商品）に関するサービスを提供する者（具体的には、ワイン製造

者が付与したID=1224のワインを取り扱う輸入代理店)が行うと考えられる。ただし、チケットを第三者的に代行業者(例えば、先の輸入代理店から委託された販売促進企画請負業社)が登録しても良い。チケット登録者104は、チケット管理部105にID、チケット、登録者情報(例えば名称、ネットワーク上のアドレス等)、チケットの内容を更新する場合には、前回チケットを登録した際に受けたチケットの識別番号(以下「チケットID」という)を送信する。送受信部1051は、受信した登録者情報を審査し、条件を満たす場合には、チケットを格納部1052に格納する。格納部1052は、チケットの内容をチェックし、チケットの形式が正しいか、チケットに記載されている内容に間違いが無いか等をチェックする。そして問題が無い場合に、チケットを格納部1052内に蓄積する。そして、格納部1052は、チケットを格納完了した旨のチケット格納完了通知と、格納したチケットのチケットIDとをチケット登録者104へ送信する。このチケットIDは、チケットの内容が変わり更新するときに再度利用される。

【0037】

[チケット検索処理及び手続き処理]

次に、図5を用いて、チケット管理部105で行われるチケット検索処理と、手続き処理実施部106で行われる手続き処理とを説明する。なお、個別の処理の流れについては、図8、図9、図10を用いて後述する。

【0038】

まず、IDが付与された物101からIDを取得したユーザ100は、そのID、サービス提供に必要なチケット要求(最適サービス提供先要求)、及びユーザ情報を手続き処理実施部106の手続き処理指示部1062に送信する。手続き処理指示部1062は「受信したIDが何か?」、また「IDに関連するサービスはどんなものがあるか?」を検索するため、チケット管理部105の送受信部1051に対しIDとチケット要求と要求者情報(手続き処理指示部1062を含む手続き処理実施部106に関する情報)とを送信する。

【0039】

送受信部1051は、IDとチケット要求と要求者情報を受信して、要求者情

報をチェックし、問題が無い場合にはIDとチケット要求を検索部1053に送信する。検索部1053は、受け取ったチケット要求の内容に、矛盾等の問題が無いかをチェックし、問題が無い場合に格納部1052にIDとチケット検索要求を送信する。格納部1052は、受け取ったIDとチケット検索要求に基づきチケットの検索処理を行い、検索で得られたチケットの有効期限をチェックし、有効期限を満たすチケット全てを検索結果として送受信部1051に渡す。検索結果としてのチケットは、手続きファイル読み出し部1063に渡される。

【0040】

手続きファイル読み出し部1063は、受け取ったチケットの各々について、当該チケットに記述された手続きファイル格納先情報に基づいて手続きファイル107から手続き情報を読み出し手続き処理指示部1062に送信する。そして、手続き処理指示部1062は、チケット要求を行ったユーザ100に関する個人情報109及び手続き情報に基づいて、当該ユーザ100が手続き可能か否かを、各チケットについて判断することで、受け取ったチケットから手続き可能なチケットのみを選択する手続き可不可チェックを行う。

【0041】

手続き可能と判断されたチケットについては、手続き処理指示部1062は、サービス提供者108に対して、サービス提供内容詳細問合せ要求を行い、サービス提供詳細内容情報（例えば「フランスワイン販売、問合せID、商品の販売価格は4500円、納品は商品つき次第で約2ヶ月後納品の見込み」等の情報）を、当該サービスに関する手続きファイル107に格納されたアクセス方法に従って獲得する。

【0042】

上記の手続き処理実施部106が行った「チケット管理部105の送受信部1051にIDとチケット要求と要求者情報とを送信して、サービス提供者108に対して、サービス提供内容詳細問合せ要求を行い、サービス提供詳細内容情報を受信する」処理をサービス提供先候補抽出処理501という。このサービス提供先候補抽出処理501は、受信したチケットに記述された情報（ID、商品に関するコメント、サービスに関するコメント等）に基づき繰り返し実行すること

で、手続き処理指示部 1062 が獲得するチケット数を増やすことが可能となる。なお、具体的な処理フローは図 8 及び図 9 を用いて後述する。

【0043】

その後、チケットフィルタリング部 1061 は、手続き処理指示部 1062 からチケットを受信し、個人情報 109 に基づいて、受け取ったチケットの中からユーザが求めているサービス提供先選択候補を絞り込む。例えば、ワインの ID での検索されたチケットについて、今回要求されたユーザの個人情報に「東京在住」、「趣味が海外旅行」との情報が含まれている場合には、海外旅行に関するチケットや東京在圏のサービス提供者に関するチケットを優先的に上位の候補にする。そして、チケットフィルタリング部 1061 は、その選択された最適サービス提供先の候補をユーザ 100 に提示する。ユーザ 100 は、求めているサービスがある場合には、そのサービスのサービス提供者 108 を選択し、サービス処理実施要求を当該サービス提供者 108 に行う。そして、ユーザ 100 とサービス提供者 108 の間で、ユーザ認証等のサービス提供を行う上で必要な契約確認処理が行われ、ユーザ 100 はサービスの提供を受ける。

【0044】

[チケットの構造]

ここで、図 6 を用いてチケットの構造を説明する。チケットには以下の(1)～(13)の情報が含まれている。

【0045】

即ち、(1) ID が付与された物であることを特定する数字文字の列である ID。(2) ID に関連した情報やサービスを提供するサービス提供者の接続先（サービス提供先（サービスエンティティポイント）：例えばネットワーク上の IP アドレスや URL 等）。(3) サービスに接続するためのアクセス方法が記されたサービス手続き情報が格納されている先（サービスエンティティアクセスプロトコル格納先ポイント：例えばネットワーク上の IP アドレス、URL、ファイル名等）。(4) チケット種別。具体的な例としては、例えば、ID が付与されものが何であるかを示す ID 発行依頼者しか発行できないチケットを示す「primary（プライマリ）」と、その物に関連したサービスを提供するために発行した「secondar

y (セカンダリ)」などがある。(5) I Dが付与された物がどのような物かを分類する情報であるオブジェクトカテゴリー (Object Category)。(6) I Dが付与された物がどこにあるかを意味する情報であるオブジェクトロケーション (Object Location)。(7) I Dが付与された物に関する様々な情報が記載されるオブジェクトコメント (Object Comments)。(8) I Dが付与された物に関連するサービス提供がどのようなサービスに分類するかを示す情報であるサービスカテゴリー (Service Category)。(9) I Dが付与された物に関連するサービス提供がどのような場所や地域で行われているかを示す情報であるサービスロケーション (Service Location)。(10) I Dが付与された物に関連するサービス提供に関する様々な情報が記載されるサービスコメント (Service Comments)。(11) チケットの登録者に関する情報。(12) チケットの登録されている有効期限。(13) チケット検索して閲覧できる検索者を示すパーミッション情報。

【0046】

チケットに記載されたこれらの情報において、(2)(3)の情報は、様々なサービスに対応できるようにポインタしか持たない構造を持っていることが特徴であり、(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)の情報は、柔軟な検索を可能として、様々なサービスを創造できる構造を持っていることが特徴である。また、(11)(12)の情報はチケットの有効性を確保するための最低限の構造を持っていることが特徴であり、(13)の情報は情報公開の制限を可能とするための構造を持っていることが特徴である。(1)(2)(3)(4)(11)(12)の情報については情報の記述が必須であるが、その他の情報に関しては記述があっても無くても構わない。情報の記述が無い場合は「NULL」と表記する。

【0047】

[チケット登録更新処理の流れ]

次に、図7を用いて、上記のようなチケットを登録更新するためのチケット登録更新処理の流れを説明する。

【0048】

まず、チケット管理部105は、I D、チケット本体、チケットI D (初めての登録の場合はNULL)、登録者情報を受信し(図7のS11)、受信したチケッ

ト登録者情報を基にチケット登録者の信頼性を評価する（S12）。ここでの信頼性評価には様々な方法を用いることができ、例えば、アカウントとパスワードを用いる方法、時間変化でパスワードを変更する方法、問合せのあったメールアドレスにパスワードを通知する方法等、そのいずれかまたは複数を組み合わせてチケット登録者を評価する。

【0049】

S12で信頼できないと判断した場合には、受信したチケットを破棄し（S18）、登録要求元にチケット格納を失敗した旨を通知して（S19）、処理を終了する。一方、S12で信頼できると判断した場合には、次に、チケットの内容が正しいか否かを判断する（S13）。ここでのチケットの内容が正しいか否かを判断する処理は、チケットの構造が規定の構造に合っているか、チケットの記載されるべき必須項目が記載されているか等をチェックすることで行う。

【0050】

S13でチケットの内容が正しくない場合には、受信したチケットを破棄し（S18）、登録要求元にチケット格納を失敗した旨を通知して（S19）、処理を終了する。一方、S13でチケットの内容が正しい場合には、同じIDかつチケットIDかつ同じ登録者情報であるチケットが既にチケット管理部105に格納されているか否かを判断する処理（チケットIDチェック処理）を行う（S14）。これによりチケットの登録かチケットの更新かを判断する。

【0051】

S14で同じIDかつチケットIDかつ同じ登録者情報であるチケットがチケット管理部105に格納されていない場合には、チケットの登録であると判断し、格納部1052にチケットを蓄積する（S16）。そして、チケットの格納が完了した旨の通知と格納したチケットに関するチケットIDとをチケット登録者104（またはチケット更新者）に通知して（S17）、処理を終了する。

【0052】

一方、S14で同じIDかつチケットIDかつ同じ登録者情報であるチケットがチケット管理部105に格納されている場合には、チケットの更新であると判断し、既に格納されているチケットに、受信した新たなチケットを上書きして蓄

積する (S15)。そして、チケットの格納が完了した旨の通知と格納したチケットに関するチケットIDとをチケット登録者104 (またはチケット更新者) に通知して (S17)、処理を終了する。なお、この際、同一ID、全てのチケットの項目が同一であるチケットがあるか否かを判断し、全く同じチケットがあった場合には、チケットを格納しない方が、データベースの格納容量を有効に利用するためには有効である。

【0053】

[チケット検索処理の流れ]

次に、図8を用いて、チケット格納部及び手続き処理実施部におけるチケット検索処理の流れを説明する。なお、ここでは、処理の主体については図5により前述したため、チケットフィルタリング部1061等ではなく、手続き処理実施部106又はチケット管理部105で総称的に表すものとする。

【0054】

まず、手続き処理実施部106は、ユーザ100からID、チケット要求、ユーザ情報を受信する (図8のS31)。そして、手続き処理実施部106は、ユーザ情報が正しいか否かの判断処理を行う (S32)。ユーザ情報が正しくない と判断した場合には直ちに処理を中断し、ユーザに処理が中断した旨を通知して (不図示)、処理を終了する。

【0055】

一方、S32でユーザ情報が正しいと判断した場合には、図5のサービス提供先候補抽出処理501を実行回数を表す回数Nをゼロ「0」にリセットし (S33)、ID、チケット要求、要求者情報をチケット管理部105へ送信する (S34)。そして、回数Nに1を加え (S35)、サービス提供先候補抽出処理501を行う (S36)。なお、サービス提供先候補抽出処理501については図10を用いて詳細に説明する。サービス提供先候補抽出処理501を終え、IDにより検索したチケットとそのチケットに関するサービス提供内容詳細情報を受信する (S37)。

【0056】

そして、受信したチケットのObject CommentsとService Commentsの項目にI

Dが記述されているか否かを判断する（S38）。IDが記述されていない場合には、個人情報参照処理を行う（S41）。IDが記述されていた場合には、回数Nが、予め定めたサービス提供先候補抽出処理501の実施回数制限数 α 未満であるか否かを判断する（S39）。回数Nが実施回数制限数 α より大きい又は等しい場合には個人情報参照処理を行う（S41）。一方、回数Nが実施回数制限数 α 未満である場合には、チケットに記述されたIDを検索対象のIDとし（S40）、再びID、チケット要求、要求者情報をチケット管理部105に送信する（S34）。このように検索対象のIDを置き換えて再びチケットを検索する処理を繰り返すことで、様々なサービス提供者に連携した横断的なサービス提供が可能となる。

【0057】

S41での個人情報参照処理では、個人情報109から、ユーザの状況及びユーザの嗜好、購買傾向、サービスの利用傾向等の個人情報が参照される。そして、個人情報を基に、ユーザに最適なサービス提供先選択処理が実施され（S42）、選択されたサービス提供先の候補は、ユーザの端末に通知される最適サービス提供先提示処理を行う（S43）。

【0058】

その後、ユーザは、提示されたサービス提供先からサービス提供先を選択するか否かを判断し、選択する場合、サービス処理実施要求を送信する。このため、S44では、ユーザからのサービス処理実施要求を受信したか否かにより、サービス提供先が選択されたか否かを判断する。ここで、選択されなかった場合には、直ちに処理を中断し、ユーザに処理が中断した旨を通知して（不図示）、処理を終了する。

【0059】

一方、ユーザからのサービス処理実施要求を受信しサービス提供先が選択されたと判断した場合には、選択されたサービス提供先と接続して（S45）、処理を終了する。これにより、サービス提供先からユーザへサービスが提供されることとなる。

【0060】

次に、図8の変形態様として、検索処理の一部をネットワーク上にあるyahooやgoogle等の検索エンジン110で行う処理の流れを図9に基づき説明する。検索エンジン110を使う本処理は、検索結果であるチケット数が少ない場合などに効果的な処理である。

【0061】

まず、手続き処理実施部106は、ユーザ100からID、チケット要求、ユーザ情報を受信する(図9のS51)。そして、手続き処理実施部106は、ユーザ情報が正しいか否かの判断処理を行う(S52)。ユーザ情報が正しくないと判断した場合には直ちに処理を中断し、ユーザに処理が中断した旨を通知して(不図示)、処理を終了する。

【0062】

一方、S52でユーザ情報が正しいと判断した場合には、ID、チケット要求、要求者情報をチケット管理部105へ送信し(S53)、サービス提供先候補抽出処理501を行う(S54)。なお、サービス提供先候補抽出処理501については図10を用いて詳細に説明する。サービス提供先候補抽出処理501を終え、IDにより検索したチケットとそのチケットに関するサービス提供内容詳細情報を受信する(S55)。

【0063】

そして、受信したチケットのObject CommentsとService Commentsの項目に記述されたコメントを検索キーとして、検索エンジン110での検索を行い(S56)、個人情報参照処理を行う(S57)。S57では、個人情報109から、ユーザの状況及びユーザの嗜好、購買傾向、サービスの利用傾向等の個人情報が参照される。そして、個人情報を基に、ユーザに最適なサービス提供先選択処理を実施する(S58)。

【0064】

ここで選択されたチケットについて、チケットのObject CommentsとService Commentsの項目に記述されたコメントを検索キーとして、検索エンジン110での検索を行う(S59)。このように、サービス提供先のハイパーリンクの精度をユーザの求めるものに近づけるには、選択されたチケットに対して行う方が効

果的である。そして、S58で選択されたサービス提供先の候補と、検索エンジン110での検索で得られたハイパーリンクとをユーザの端末に提示する(S60)。

【0065】

その後、ユーザは、提示されたサービス提供先からサービス提供先を選択するか否かを判断し、選択する場合、サービス処理実施要求を送信する。このため、S61では、ユーザからのサービス処理実施要求を受信したか否かにより、サービス提供先が選択されたか否かを判断する。ここで、選択されなかった場合には、直ちに処理を中断し、ユーザに処理が中断した旨を通知して(不図示)、処理を終了する。

【0066】

一方、ユーザからのサービス処理実施要求を受信しサービス提供先が選択されたと判断した場合には、選択されたサービス提供先と接続する(S62)。これにより、サービス提供先からユーザへサービスが提供されることとなる。

【0067】

このようにして、チケットの検索数が少ない場合などには、検索エンジン110を有効に使うことで、チケットが登録されていないサービスをもサービス提供先の候補として検出し、抽出することが可能となる。

【0068】

[サービス提供先候補抽出処理の流れ]

次に、図10を用いて、サービス提供先候補抽出処理の流れを説明する。

【0069】

手続き処理実施部106にある手続き処理指示部1062は、ID、チケット要求、要求者情報をチケット管理部105に送信する。この際、ユーザが要求しているサービス種別が既知の場合には、そのサービス種別をチケット管理部105に送信することで、チケットの検索結果の絞り込みを予め行うことが可能となる。

【0070】

チケット管理部105の送受信部1051は、手続き処理指示部1062から

の ID、チケット要求、要求者情報を受信し（図 10 の S 7 1）、要求者情報が正しいか否かを判断する（S 7 2）。ここで要求者情報が正しくないと判断した場合、直ちに処理を中断するとともに処理が中断した旨を、要求者である手続き処理実施部 106 に通知して（不図示）、処理を終了する。

【0071】

一方、要求者情報が正しいと判断した場合には、ID とチケット要求を検索部 1053 に送信する（S 7 3）。検索部 1053 は、受け取ったチケット要求に矛盾等の問題が無いかをチェックすることで、当該チケットの内容が正しいか否かを判断する（S 7 4）。チケットの内容が正しくない場合には、直ちに処理を中断するとともに処理が中断した旨を、要求者である手続き処理実施部 106 に通知して（不図示）、処理を終了する。

【0072】

チケットの内容が正しい場合には、検索部 1053 は格納部 1052 に対し ID とチケット検索要求を送信する。格納部 1052 は、受け取ったチケット検索要求に基づきチケットの検索処理を行う（S 7 5）。予めユーザが要求しているサービス種別が検索キーとして指定されている場合には、そのサービス種別情報に基づくフィルタリング検索を行い、チケット抽出処理を行う（S 7 6）。

【0073】

そして、検索により得られたチケットがあるか否かを判断し（S 7 7）、チケットが無かった場合には、直ちに処理を中断するとともに処理が中断した旨を、要求者である手続き処理実施部に通知して（不図示）、処理を終了する。一方、チケットがあった場合には、そのチケットの有効期限等をチェックする処理を行い（S 7 8）、有効期限を満たすチケット全てを、検索結果として送受信部 1051 から手続きファイル読み出し部 1063 に渡す。

【0074】

手続きファイル読み出し部 1063 は、受け取ったチケット 1 つ 1 つを読み出す処理を行い（S 7 9）、そして手続きファイル読み出し処理を行うことで（S 8 0）、その手続き情報を取得する。そして、手続きファイル読み出し処理を未処理の次のチケットがあるか否かを判断し（S 8 1）、未処理のチケットがある

場合には、再び読み出し処理（S79）、手続きファイル読み出し処理（S80）を行う。

【0075】

次のチケットが無い場合（全てのチケットの手続きファイルを読み出し終えた場合）は、手続き処理実施部106において、チケット要求を行ったユーザ100が手続き可能か否かを個人情報109に基づいて判断することで、手続き可能なチケットのみを選択する（ユーザが利用可能な手続き処理のチケット選択処理を行う）（S82）。

【0076】

そして、ユーザが手続き可能なチケットがあるか否かを判断し（S83）、手続き可能なチケットがないと判断した場合には、直ちに処理を中断するとともに処理が中断した旨を、要求者である手続き処理実施部106に通知して（不図示）、処理を終了する。

【0077】

一方、S83で、手続き可能なチケットがある場合には、チケット1つ1つを読み出す処理を行い（S84）、サービス提供内容詳細問合せ処理を行う（S85）。そして、サービス提供内容詳細問合せ処理を未処理の次のチケットがあるか否かを判断し（S86）、未処理のチケットがある場合には、再びチケット読み出し処理（S84）、サービス提供内容詳細問合せ処理を行う（S85）。

【0078】

次のチケットが無い場合（全てのチケットのサービス提供内容詳細問合せ処理を終えた場合）、各々のチケットとチケットに関するサービス提供内容詳細情報とを処理の結果として処理を終える。

【0079】

[処理の例の説明]

次に、図11～図14を用いて、処理の例を説明する。

【0080】

ここで、チケット管理部105に、ワイン（IDはJAN490136036479）に関するチケットが3つ登録されているとする。

【0081】

ユーザ100が、IDとしてJAN490136036479が付与された物（ワイン）101を見て、IDがJAN490136036479であるチケットのチケット要求をすると、前述のチケット検索処理により、図11（a）～（c）の3つのチケットが検索結果として得られる。

【0082】

図11（a）～（c）に示すように、3つ全てのチケットのID欄にはJAN490136036479が記述されている。手続き処理実施部106は、これらのチケットからチケット種別、サービス種別を参照して、ユーザ100に適したサービスを提供するため、最適サービス提供先提示処理を実施する。

【0083】

図13には、ユーザ100の端末に表示された最適サービス提供先リストの一例を示す。この例では、要求したID（JAN490136036479）に関する情報として、図11（a）に示すプライマリチケットに記載された情報とともに、IDに関連したサービスとして図11（b）、（c）に示す2つのセカンダリチケットに記載された情報も提示されている。

【0084】

即ち、図13には、検索IDと、図11（a）のプライマリチケットのObject Categoryの情報及びObject Commentsの情報と、図11（b）のセカンダリチケットのサービスエンティティポインタ情報と、図11（c）に示すセカンダリチケットのサービスエンティティポインタ情報及びService Commentsの情報とが示されている。

【0085】

このようにIDに関連したサービスを提供するサービス提供者が、IDに関連するサービスとしてチケットに登録するだけで、サービス提供者の連携を実現することが可能となり、サービス提供者が予め用意するリンク情報や提携関係を構築する手間を削減することが可能である。また、ユーザにとって絶えず動的に変化し、選択できるサービス提供者の範囲を広げることが可能である。

【0086】

次に、チケット管理部105に、ワイン（IDはJAN490136036479）に関するチケット1つと、地名（IDはLocation-ID245699）に関連したチケット2つが登録されているケースを想定する。

【0087】

ユーザ100が、IDとしてJAN490136036479が付与された物（ワイン）101を見て、IDがJAN490136036479であるチケットのチケット要求をすると、前述のチケット検索処理により、図12（a）のチケット（ID欄がJAN490136036479のチケット）が得られる。この図12（a）のチケットのObject Comments欄には、IDとしてワインの産地を示すLocation-ID245699が記述されている。そのため、手続き処理実施部106が行う検索処理にて、図12（a）のチケットに加え、図12（b）、（c）のチケットもさらに選択される。手続き処理実施部106は、これらのチケットからチケット種別、サービス種別を参照して、ユーザ100に適したサービスを提供するため、最適サービス提供先提示処理を実施する。

【0088】

図14には、ユーザ100の端末に表示された最適サービス提供先リストの一例を示す。この例では、要求したID（JAN490136036479）に関する情報として、図12（a）に示すプライマリチケットに記載された情報とともに、IDに関連したサービスとして図12（c）に示すチケットに記載された情報も提示されている。ここでは、ユーザ100の個人情報109に基づき、図12（b）、（c）の2つのチケットのうち、図12（c）に示すチケットのみが選択されている。

【0089】

即ち、図14には、検索IDと、図12（a）のプライマリチケットのObject Categoryの情報及びObject Commentsの情報と、図12（c）に示すセカンダリチケットのサービスエンティティポイント情報及びService Commentsの情報とが示されている。

【0090】

このように本実施形態によれば、IDに関連したIDをチケットに登録するだ

けで、サービス提供者の連携を実現することができ、サービス提供者が予め用意するリンク情報や提携関係を構築する手間を削減することができる。また、ユーザにとって絶えず動的に変化し、選択できるサービス提供者の範囲を広げることができる。

【0091】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、1つのチケットが異なるコードを含むよう構成することで、当該異なるコードを用いたチケットの検索、及び検索で得られた新たなチケットに含まれた新たな商品に関する情報、新たなサービスに関する情報、そのアクセス方法情報、及びそのサービス提供内容情報をユーザへ提示することが可能となる。これにより、複数のサービス提供者を連携させるために用意するべきリンク情報や提携関係を構築する従来のような手間を削減することができ、ユーザにとっても選択可能なサービス提供者の範囲が広がるため、ユーザの便宜を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施形態であるサービス提供システムの全体構成図である。

【図2】

IDの発行機関認定処理及びID発行処理を説明するための図である。

【図3】

ID発行機関認定処理を行わずにIDの重複を避けるID発行機関のID発行処理を説明するための図である。

【図4】

チケット管理部のチケットの登録・更新処理を説明するための図である。

【図5】

チケット管理部で行われるチケット検索処理と、手続き処理実施部で行われる手続き処理を説明するための図である。

【図6】

チケットの構造を示す図である。

【図 7】

チケット登録更新処理の流れ図である。

【図 8】

チケット格納部及び手続き処理実施部におけるチケット検索処理の流れ図である。

【図 9】

検索処理の一部をネットワーク上にある検索エンジンで行う処理の流れ図である。

【図 10】

サービス提供先候補抽出処理の流れ図である。

【図 11】

(a) ~ (c) は ID 欄に JAN490136036479 が記述されたチケットの検索結果の一例を示す図である。

【図 12】

(a) は ID 欄に JAN490136036479 が記述されたチケットの検索結果の一例を示す図であり、(b)、(c) は (a) のチケットの Object Comments 欄に記述された Location-ID 245699 をキーに検索して得られたチケットの検索結果の一例を示す図である。

【図 13】

図 11 の検索結果に関連する最適サービス提供先リストの例を示す図である。

【図 14】

図 12 の検索結果に関連する最適サービス提供先リストの例を示す図である。

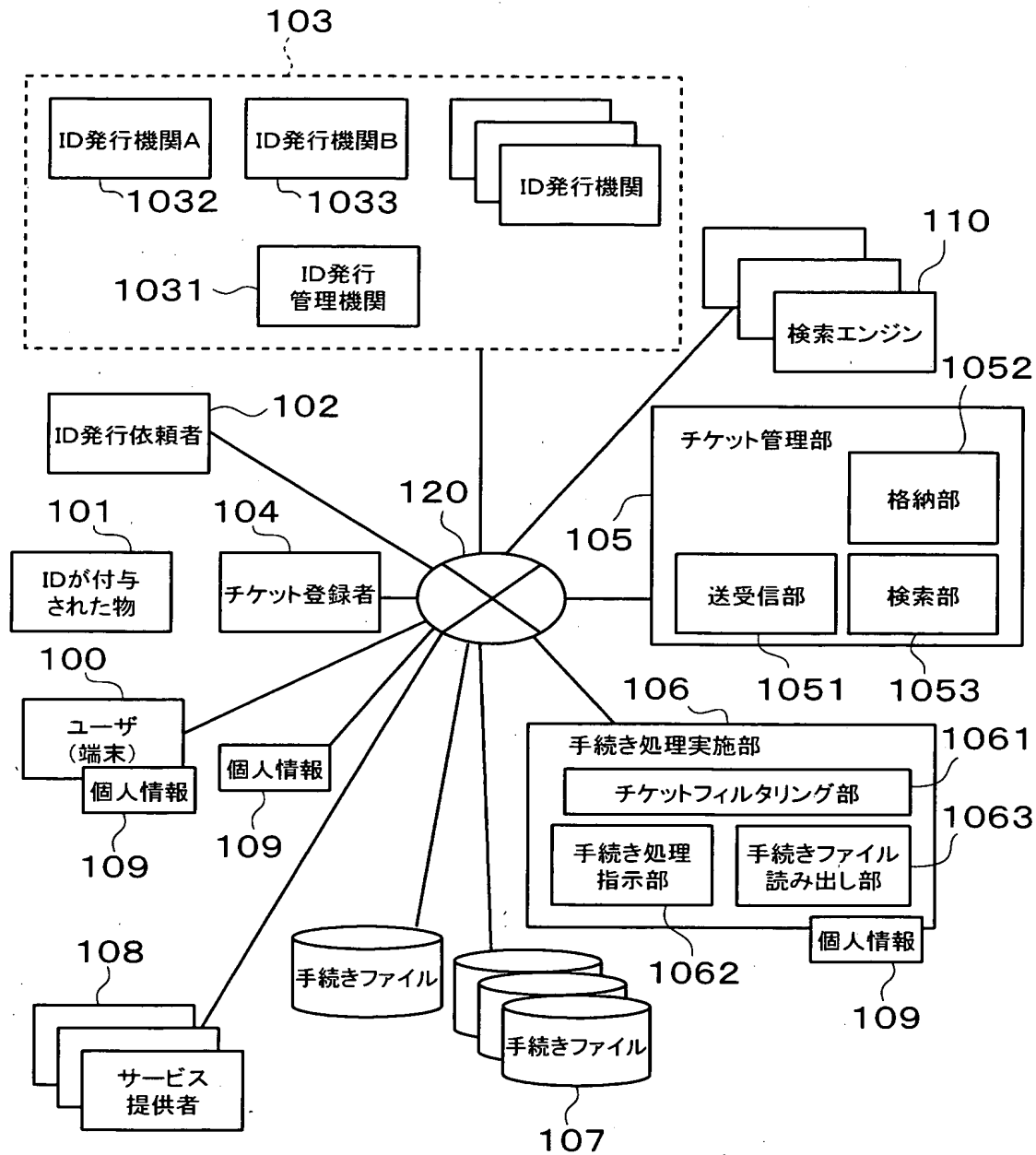
【符号の説明】

100...ユーザ端末、101...ID が付与された物、102...ID 発行依頼者、103...ID 発行機関のグループ、1031...ID 発行管理機関、1032、1033...ID 発行機関、104...チケット登録者、105...チケット管理部、1051...送受信部、1052...格納部、1053...検索部、106...手続き処理実施部、1061...チケットフィルタリング部、1062...手続き処理指示部、1063...手続きファイル読み出し部、107...手続きファイル、108...サ

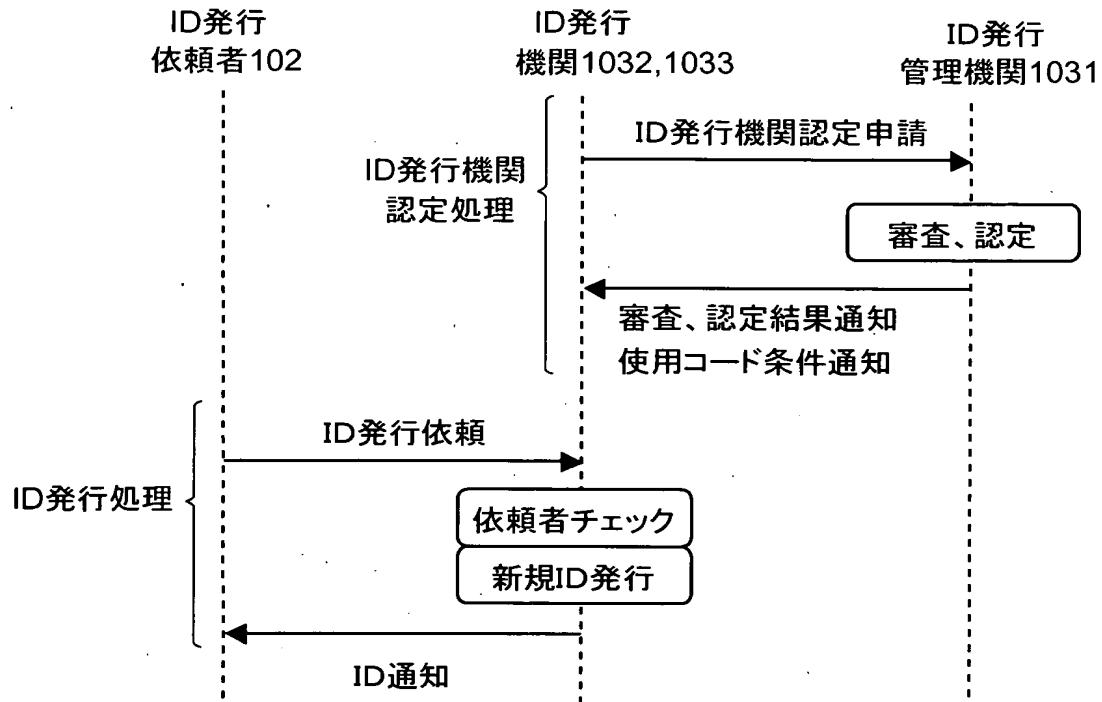
サービス提供者、1 0 9 …個人情報、1 1 0 …検索エンジン、1 2 0 …ネットワーク、5 0 1 …サービス提供先候補抽出処理。

【書類名】 図面

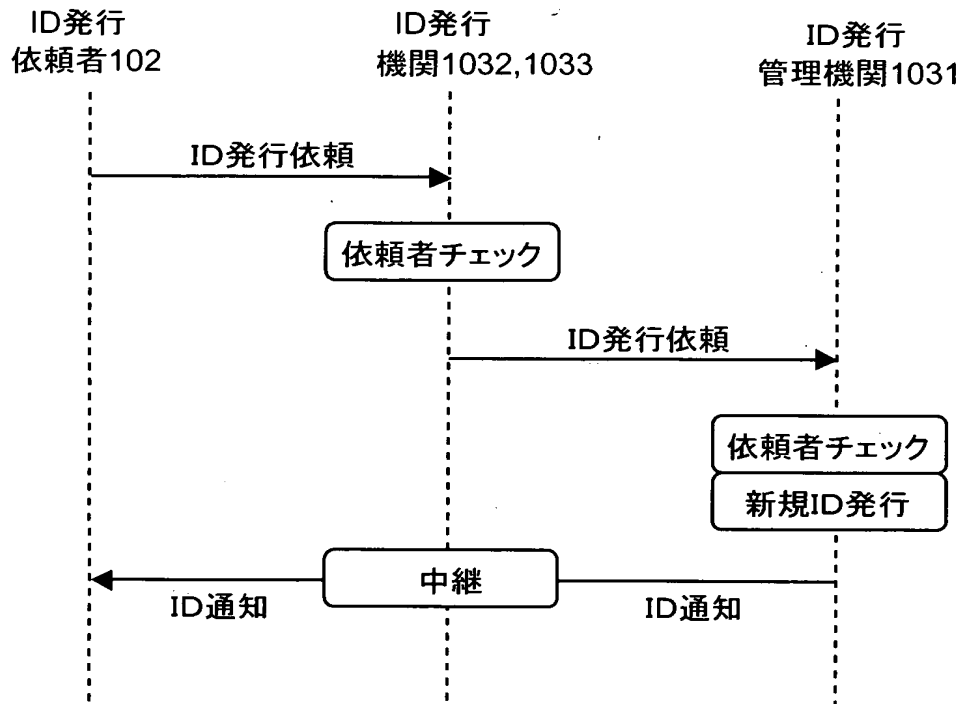
【図 1】



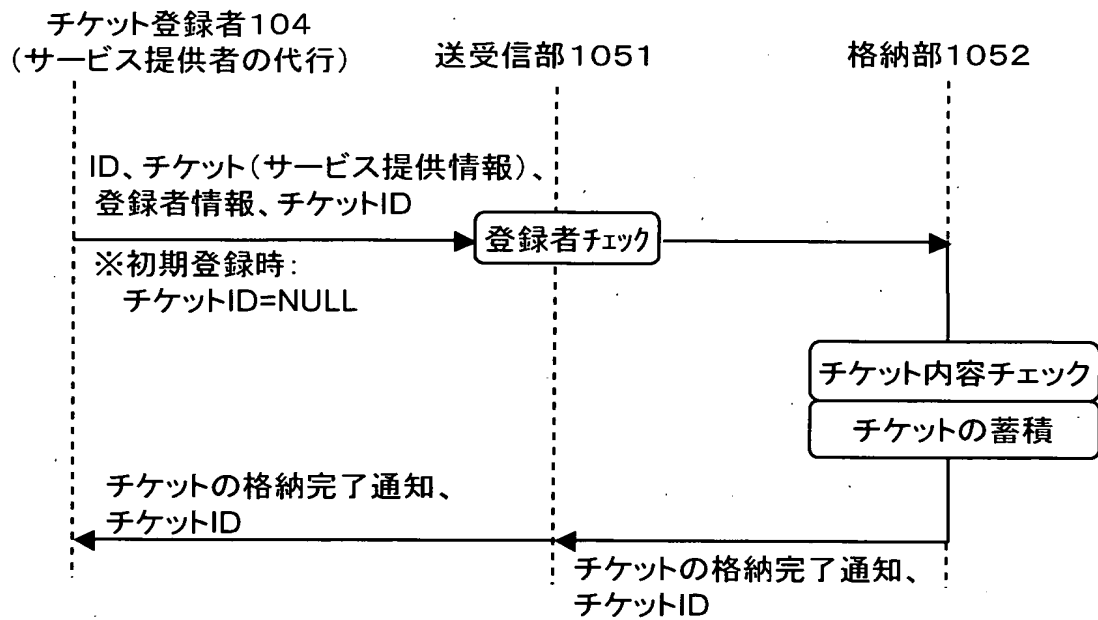
【図 2】



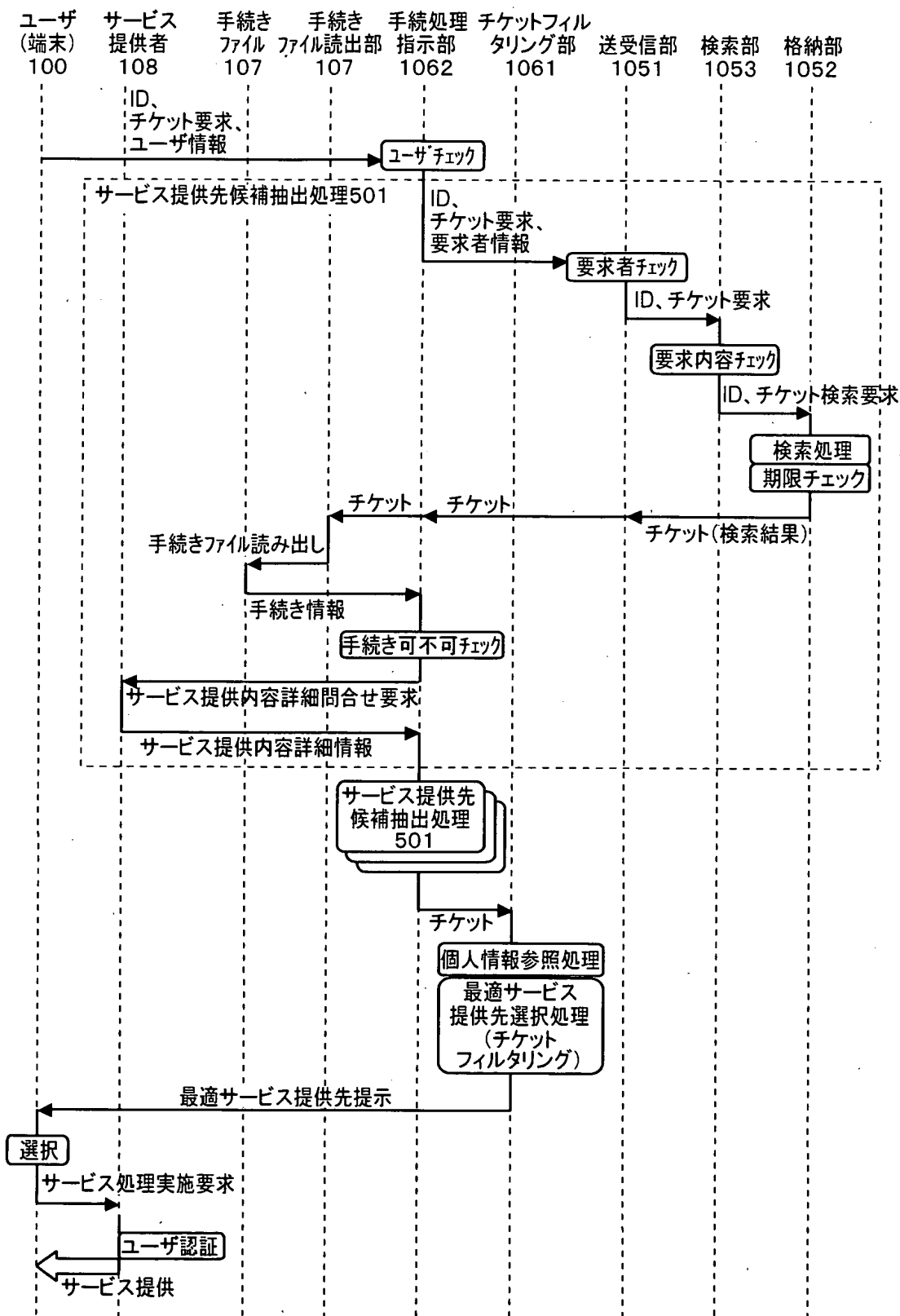
【図 3】



【図 4】



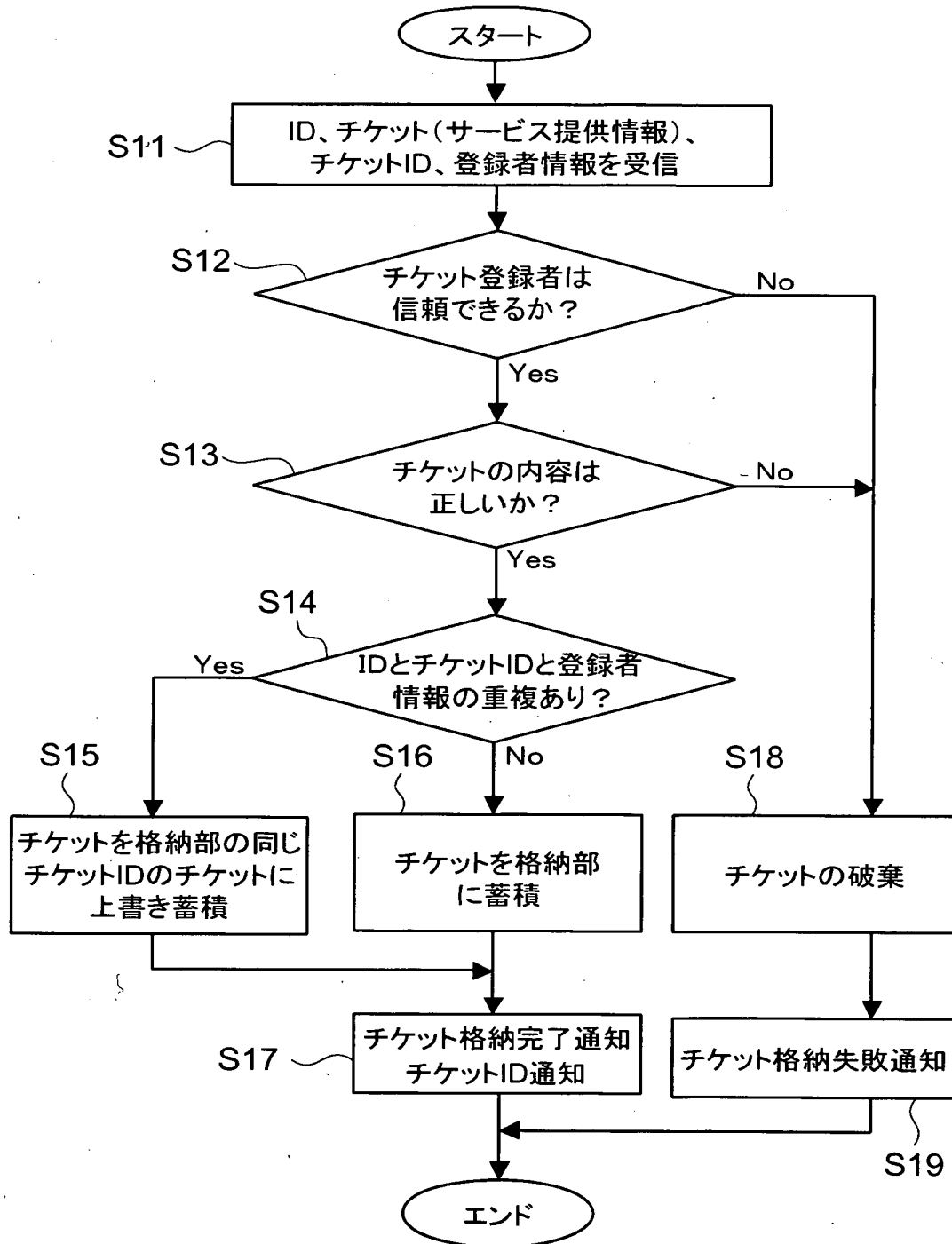
【図 5】



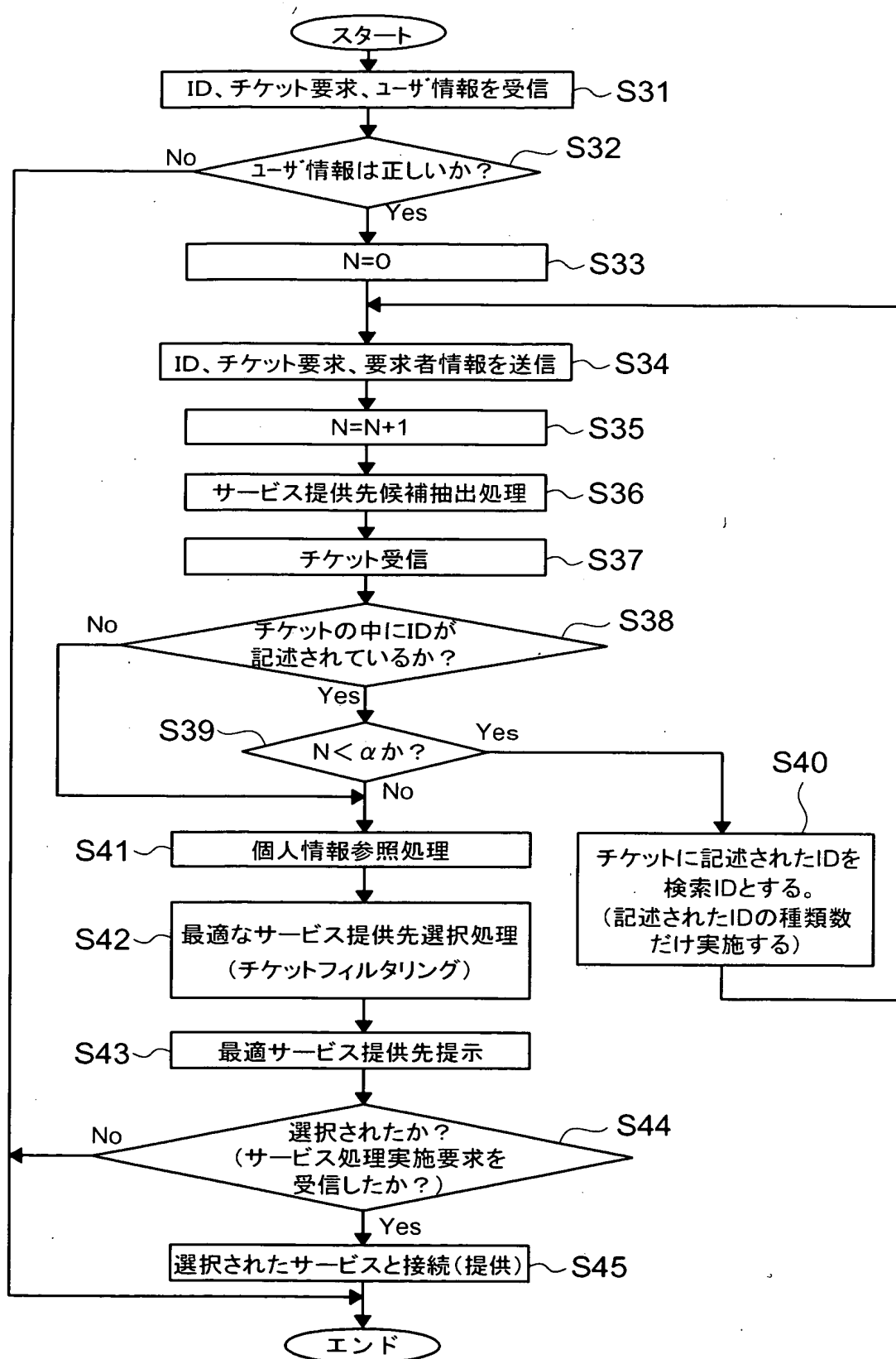
【図6】

(1) ID
(2) サービスエンティティポインタ
(3) サービスエンティティアクセス プロトコル格納先ポインタ
(4) チケット種別
(5) Object Category
(6) Object Location
(7) Object Comments
(8) Service Category
(9) Service Location
(10) Service Comments
(11) チケット登録者情報
(12) チケット有効期限
(13) パーミッション情報

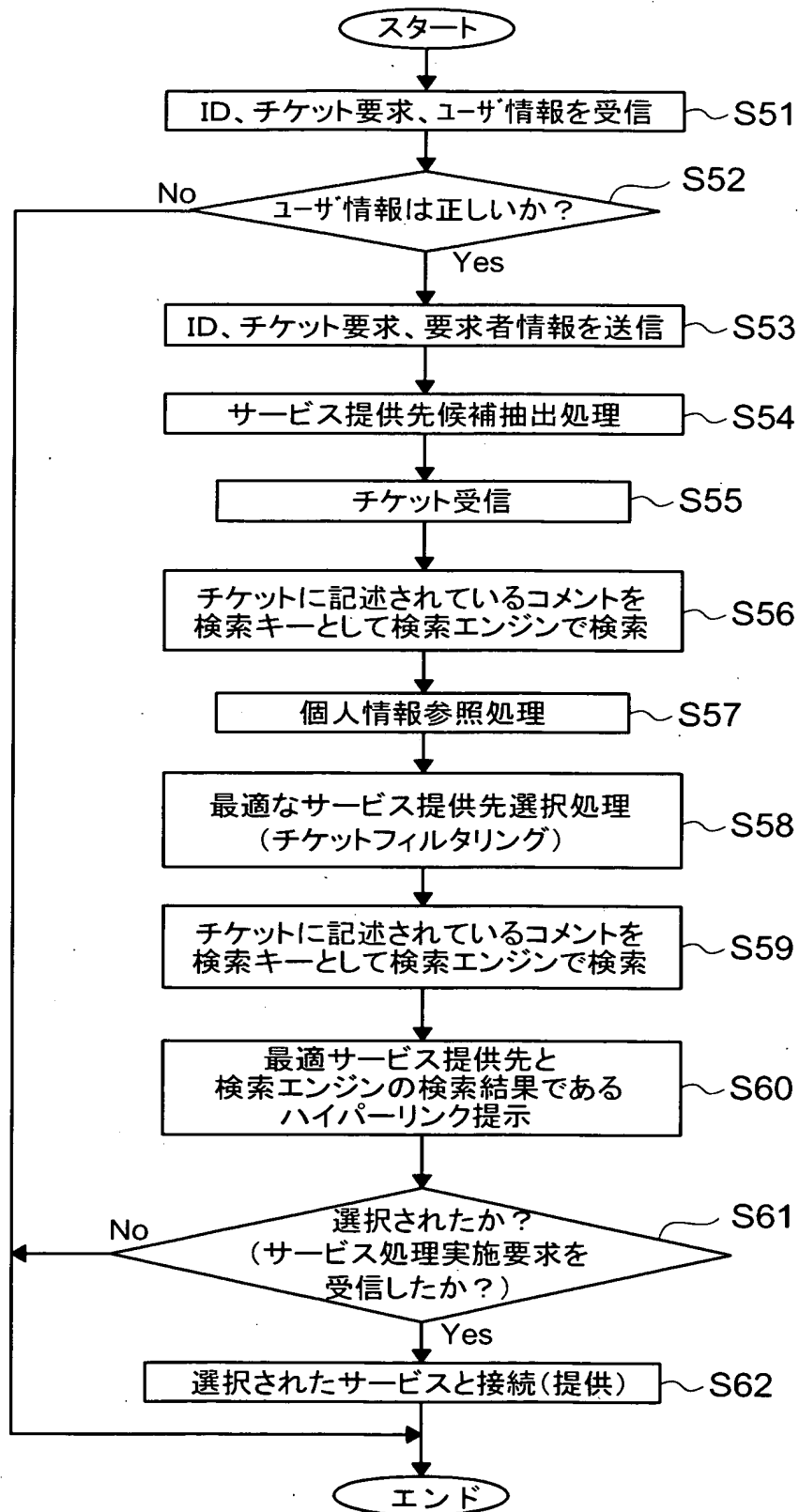
【図 7】



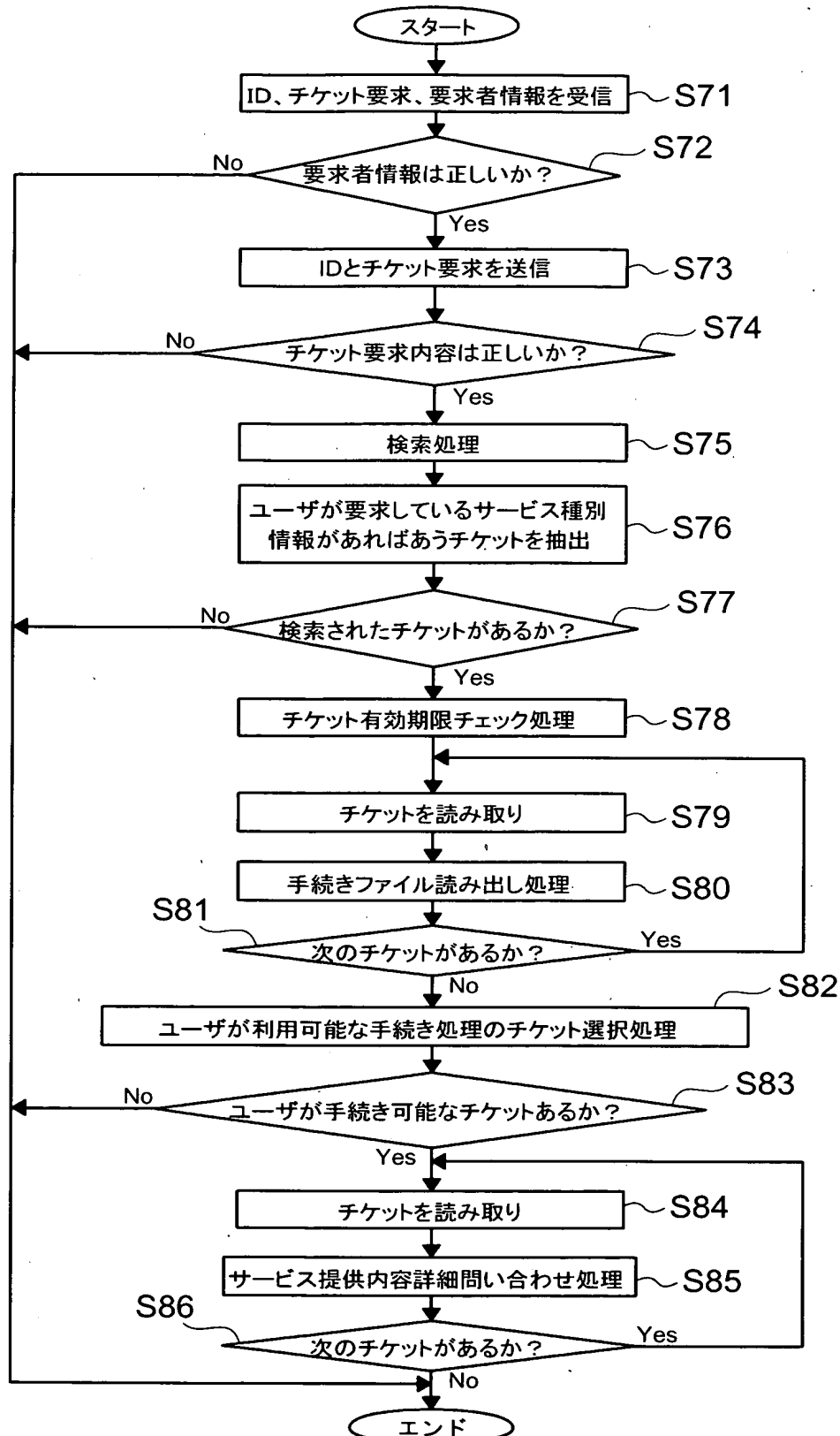
【図 8】



【図 9】



【図10】



【図 11】

(a)	ID: JAN490136036479
	サービスエンティティポインタ: URL: wine.provider.com
	サービスエンティティアクセスプロトコル格納先ポインタ: http://tetuduki.com/asp1
	チケット種別: primary
	Object Category: ワイン
	Object Location: NULL
	Object Comments: フランスワイン、白ワイン、プロバンス産
	Service Category: NULL
	Service Location: NULL
	Service Comments: NULL
	チケット提供者情報: wine2235@xyz.co.jp
	チケット有効期限: 2015年12月31日
	パーミッション情報: all
(b)	ID: JAN490136036479
	サービスエンティティポインタ: URL: wine.bar.co.jp
	サービスエンティティアクセスプロトコル格納先ポインタ: http://tetuduki.com/asp2
	チケット種別: secondary
	Object Category: NULL
	Object Location: NULL
	Object Comments: NULL
	Service Category: Restaurant、BAR、ワイン輸入販売
	Service Location: Shibuya
	Service Comments: プロバンス産ワイン、
	チケット提供者情報: winebar1132@xyz.co.jp
	チケット有効期限: 2010年12月31日
	パーミッション情報: all
(c)	ID: JAN490136036479
	サービスエンティティポインタ: URL: big-tour.co.jp
	サービスエンティティアクセスプロトコル格納先ポインタ: http://tetuduki.com/open_card/28692.asp
	チケット種別: secondary
	Object Category: NULL
	Object Location: NULL
	Object Comments: NULL
	Service Category: ワイナリー見学ツアー、ワイン試飲ツアー
	Service Location: プロバンス地方
	Service Comments: プロバンス地方ツアー、プロバンスワイナリー 見学ツアー、プロバンスワイン試飲ツアー
	チケット提供者情報: winetour2468@xyz.com
	チケット有効期限: 2002年12月31日
	パーミッション情報: all

【図 12】

(a)	ID: JAN490136036479
	サービスエンティティポインタ: URL: wine.provider.com
	サービスエンティティアクセスプロトコル格納先ポインタ: http://tetuduki.com/asp1
	チケット種別: primary
	Object Category: ワイン
	Object Location: NULL
	Object Comments: フランスワイン、白ワイン、プロバンス産 (Location-ID245699)
	Service Category: NULL
	Service Location: NULL
	Service Comments: NULL
	チケット提供者情報: wine2235@xyz.co.jp
	チケット有効期限: 2015年12月31日
	パーミッション情報: all
(b)	ID: Location-ID245699
	サービスエンティティポインタ: URL: wine.bar.co.jp
	サービスエンティティアクセスプロトコル格納先ポインタ: http://tetuduki.com/asp2
	チケット種別: primary
	Object Category: 地名
	Object Location: South France
	Object Comments: ワイン(JAN 490136036479)の産地、古城ホテル
	Service Category: NULL
	Service Location: NULL
	Service Comments: NULL
	チケット提供者情報: Location@xyz.co.jp
	チケット有効期限: 2010年12月31日
	パーミッション情報: all
(c)	ID: Location-ID245699
	サービスエンティティポインタ: URL: big-tour.co.jp
	サービスエンティティアクセスプロトコル格納先ポインタ: http://tetuduki.com/open_card/28692.asp
	チケット種別: secondary
	Object Category: NULL
	Object Location: NULL
	Object Comments: NULL
	Service Category: ワイナリー見学ツアー、ワイン試飲ツアー
	Service Location: プロバンス地方
	Service Comments: プロバンス地方ツアー、プロバンスワイナリー 見学ツアー、プロバンスワイン試飲ツアー
	チケット提供者情報: winetour2468@xyz.com
	チケット有効期限: 2002年12月31日
	パーミッション情報: all

【図 13】

検索ID: JAN490136036479

名称等: ワイン(フランスワイン、白ワイン、プロバンス産)

①ワインの飲める店 wine.bar.co.jp

②ワインを飲みにいこう! big-tour.co.jp

(プロバンス地方ツアー、プロバンスワイナリー
見学ツアー、プロバンスワイン試飲ツアー)

【図 14】

検索ID: JAN490136036479

名称等: ワイン(フランスワイン、白ワイン、プロバンス産)

【お勧め情報】

★ワインを飲みにいこう! big-tour.co.jp

(プロバンス地方ツアー、プロバンスワイナリー
見学ツアー、プロバンスワイン試飲ツアー)

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 サービス提供者を連携させるために用意するリンク情報や連携関係を構築する手間を削減し、ユーザにとって選択可能なサービス提供者の範囲を広げユーザの便宜を図る。

【解決手段】 ユーザが、所望のID（コード）に対応したチケットに含まれた商品に関する情報、サービスに関する情報、当該チケットに含まれた手続きファイルの格納先情報に基づき読み出されたアクセス方法情報、及び当該チケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスに基づき獲得されたサービス提供内容情報を得ることができるシステムにおいて、チケットが、IDとは異なるIDを含むことが可能とされ、ユーザが要求したIDに対応したチケットが異なるIDを含むか否かを判断し（S38）、当該チケットが異なるIDを含む場合には、当該異なるIDを新たな検索キーとして（S40）、チケットの検索を繰り返し行う（S36）。

【選択図】 図8

認定・付加情報

特許出願の番号 特願 2002-198948
受付番号 50200998205
書類名 特許願
担当官 第七担当上席 0096
作成日 平成14年 7月 9日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】 392026693
【住所又は居所】 東京都千代田区永田町二丁目11番1号
【氏名又は名称】 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

【特許出願人】

【識別番号】 398038580
【住所又は居所】 アメリカ合衆国カリフォルニア州パロアルト ハ
ノーバー・ストリート 3000
【氏名又は名称】 ヒューレット・パッカード・カンパニー

【代理人】

申請人

【識別番号】 100088155
【住所又は居所】 東京都中央区銀座二丁目6番12号 大倉本館
創英国際特許法律事務所
【氏名又は名称】 長谷川 芳樹

【選任した代理人】

【識別番号】 100092657
【住所又は居所】 東京都中央区銀座二丁目6番12号 大倉本館
創英国際特許法律事務所
【氏名又は名称】 寺崎 史朗

【選任した代理人】

【識別番号】 100114270
【住所又は居所】 東京都中央区銀座二丁目6番12号 大倉本館
創英国際特許法律事務所
【氏名又は名称】 黒川 朋也

【選任した代理人】

【識別番号】 100108213
【住所又は居所】 東京都中央区銀座二丁目6番12号 大倉本館
創英国際特許法律事務所

次頁有

認定・付加情報 (続き)

【氏名又は名称】 阿部 豊隆
【選任した代理人】
【識別番号】 100113549
【住所又は居所】 東京都中央区銀座二丁目 6 番 1 2 号 大倉本館
創英国際特許法律事務所
【氏名又は名称】 鈴木 守

次頁無

特願 2 0 0 2 . 2 . 1 9 8 9 4 8

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[3 9 2 0 2 6 6 9 3]

1 . 変更年月日

1 9 9 2 年 8 月 2 1 日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都港区虎ノ門二丁目 1 0 番 1 号

氏 名

エヌ・ティ・ティ移動通信網株式会社

2 . 変更年月日

2 0 0 0 年 5 月 1 9 日

[変更理由]

名称変更

住所変更

住 所

東京都千代田区永田町二丁目 1 1 番 1 号

氏 名

株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

特願 2 0 0 2 . 2 . 1 9 8 9 4 8

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[3 9 8 0 3 8 5 8 0]

1 . 変 更 年 月 日

1 9 9 8 年 5 月 1 9 日

[変 更 理 由]

新 規 登 録

住 所

ア メ リ カ 合 衆 国 カ リ フ ォ ル ニ ア 州 パ ロ ア ル ト ハ ノ ー バ ー ・ ス
ト リ ー ト 3 0 0 0

氏 名

ヒ ュ ー レ ッ ト ・ パ ッ カ ー ド ・ カ ン パ ニ ー